



「肥後国八代城廻絵図」
(国立国会図書館所蔵) 部分・一部加筆



はぎわらきゅうていぼうあと そうがま いしがき
萩原旧堤防跡 (惣構えの石垣)

萩原旧堤防跡は、^{はぎわらまち}萩原町から^{しおやまち}塩屋町にかけて延びる約4kmの堤防跡です。平成16年度に実施した発掘調査で堤防の中から石垣が発見され、出土した石垣一部は八代市立博物館野外展示場に移設展示されています。



ぐうかくぶ

隅角部は、敵の侵入を防ぐとともに、敵への攻撃に適した構造で、城の石垣などに設けられます。通常、河川の石垣は水圧に耐えるため隅角部はありませんが、この石垣には隅角部が見つかりました。このことから、萩原旧堤防跡から出土した石垣は八代城を取り巻く惣構えの石垣であったと考えられます。